

妻に殺される…夫婦対決の離婚法廷190分を全米況  
**恐怖の寝室**  
高嶋政伸 凍らせた

**美元 逃がさない!**  
百恵さん 長男の再起を支える 愛のメール 沢尻 大麻騒動 困惑母にマンション住民たちが 出てけ!

**安達祐実 がんセンターへ入院 元夫に苦悶SOS!**

# 女性自身

6月19日号  
特別定価  
380円  
光文社

女性自身

再生の力、導く奇跡の  
**金環日食**  
付録 カード

一生、医者いらず  
になる**歯科**

ご成婚19年ツラ  
愛と微笑み

河本 準  
握る**鬼嫁**

生活保護 母の仕送りより**ベット**

カギは脱・美智子さま流  
**雅子さまの笑顔をも**

すたちでやせる  
水はけ**エサド**



維新はるか前  
お家でリラクセス

300年ぶり  
**2023年**  
竜巻、ゲリラ豪雨も  
前兆

**水河期**がやってくる!

堀北 白鳥とお笑いコンビ結成!

鈴木京香 堤真一 震えた11年再会オーラ

香川 龍之 ゲーム厳禁! 長男の超英才教育

キビヨウジユン  
BとDの**秘話** 26  
東方神起に会える  
赤坂 麻布 渋谷  
お忍び

夏に輝く大特集  
5歳**ショート**

100均へアアクセ

浴衣で涼女!

大阪再稼働許せますか!? 達人5人が秘めた  
**最高の節電54**  
虎の巻 保存版

荻原 **怒**  
博子

電力値上げ試算に  
社員ボーナス組み込み

# 5ドルカレー!



# 世界一の街の



# ランチを制す!

日本人の国民食、カレーライス  
 アメリカにも広めたい。  
 国内でも店舗数を増やしている  
 「ゴーゴーカレー」は、ニューヨークでも  
 2店舗を運営している。  
 現地法人の社長を務めるのは、女優を  
 めざしてブロードウエイに渡ったひとりの  
 日本人女性。同じく現地で活動する  
 日本人女性を副社長に迎え、  
 二人三脚でアメリカンドリームを  
 つかむべく、奮闘している。



ニューヨーク「大森智子」社長  
 ニューヨーク「繁盛記」  
 38

数ある日級グルメの中で最近、人気なのが、金沢カレー。濃厚なルーに付け合わせの千切りキャベツ、食べるのに使うのは先割れスプーン……。ポリウムたっぷりのこの金沢カレーのお店が、ニューヨークにもあるのをご存じだろうか。現地での実務を取り仕切るのには、日本人の女性社長。本誌が取材に訪れた日、お店では、年に一度の大イベントが行われていた……。

「それでは競技開始に先立ち「始カレー式」を行います。宮森社長、前へどうぞ」

始球式なら聞いたことはあるけれど、「始カレー式」って、いったい何?

米国・ニューヨークの「ゴーゴーカレーUSA」1号店タイムズスクエアにほど近いこの場所で「第4回イーティンク・チャンピオンシップ」が行われようとしていた。日本流に言えば、カレーの大会。

日本から駆けつけた本社の宮森宏和社長(38)が進み出ると、「君が代」斉唱を行った女性歌手が、1杯のカレーを社長の口元へ。それをパクリと食べる儀式こそが、始カレー式!

なんともユニークなアイデア

# フリーズ

No. 2088  
 数字 / 武田双雲

# アリス

写真

「風景も気質も、ニューヨークとは対極のような日本海の漁港で私は生まれました」  
大森さんは73（昭和48）年6月、石川県七尾市で生まれた。父親（71）は公務員、母親（71）は生花店を営んでいた。兄が2人、3人きょうだいの

オランダロードウエー・デビューを果たしたときには日本の新聞でも報じられた大森さん（中央）



「卒業記念に、仲間とロサンゼルス演劇学校のオーディションを受けたんです」  
記念の挑戦だったが、大森

「お前が自分で考えた道だから、がんばってみなさい」  
必死で英語を学び、留学資格検定も突破。かつて訪れたカリフォルニア州・モントレーのベニスストラカレージ演劇科へ進んだ。

「子供のころから、外では活発に生きていたが、本当の自分を解放できるのは日記のなかだけでした。それが演劇と出合っ、表現し、伝えることの喜びを知ったんです」  
2年間の学生生活は、あっという間に過ぎていった。

「卒業記念に、仲間とロサンゼルス演劇学校のオーディションを受けたんです」  
記念の挑戦だったが、大森

「卒業記念に、仲間とロサンゼルス演劇学校のオーディションを受けたんです」  
記念の挑戦だったが、大森

「卒業記念に、仲間とロサンゼルス演劇学校のオーディションを受けたんです」  
記念の挑戦だったが、大森

「卒業記念に、仲間とロサンゼルス演劇学校のオーディションを受けたんです」  
記念の挑戦だったが、大森

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

「アパルトが火事で全焼。子供のころからの日記も洋服もお金もすべて失いました」  
文字どおり、ホームレスと

アは、ゴーゴーカレーならではかもしれない。石川県発祥のカレーライスのチェーン店で、黄色い看板にゴリラのイラストが目印。大リーガー・松井秀喜選手への熱烈な応援ぶりや、新店オープン時には「55円カレー」で大行列ができることも知られる。店名の「ゴーゴー」も55円の価格もすべて、松井選手がつけてきた背番号、55からきている。日本で42店舗を展開する同社は、海外出店も盛ん。ここニューヨーク店は、海外7店舗の筆頭だ。気づけば、店内は人種もさまざまな常連客や野次馬でこった返し、熱気でムンムン。そこへ、チャレンジャーが紹介される。

「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1

「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1

「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1

「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1

「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1

「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1

「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1

「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1

「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1



旅行会社に9年間勤務した後、同僚の松井選手の活躍に刺激されて起業した宮森社長。国内555店舗、海外55店舗の出店目標を掲げる



「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1

「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1

「マサシ・オカムラ、サムライ・フロム・ジャパン」  
侍のコスプレをした岡村正史さん（51）は、はじめ、日本5人の挑戦者が、5分55秒で1

創立36年、臨床症例数65万件。  
安心の中で「きれい」は生まれる。

大塚美容形成外科・歯科

シミ 医療用白クレンジング 8,400円	シブ ヒアルロン酸注射 7,000円
シミ・レーザー治療 10,500円	ボトックス注射 12,000円
シミ・クリーム治療 39,900円	切らない 上まぶたのたるみ取り 157,500円
顔のタルミ シルズットリフト 262,500円	上まぶたの たるみ除去 378,000円
ミニリフト 525,000円	下まぶたの たるみ除去 315,000円
豊胸 ヒアルロン酸注入 37,800円	1日50分 50分 豊胸 15,000円
医療パック豊胸 472,500円	1日50分 50分 豊胸 157,500円
部分痩身注射 26,250円	鼻を高く 隆鼻注射 84,000円
二重瞼 90,000円	プロテーゼ挿入法 199,500円
まもも 90,000円	白い歯 ホワイトニング 15,750円
156,000円	オールセラミック クラウン 157,500円
134,000円	インプラント 210,000円

無料相談・資料請求は下記へ  
0120-80-1611  
http://www.otsuka-biyo.co.jp

貴社のCSR、

社会貢献事業を

もう一段上の

ステージへ。

社会環境が急速に変化し、投資家や消費者のニーズも多様化している現在、企業のCSRや社会貢献への取組にも新しい価値が求められています。日本財団は貴社の取組ステージに応じた社会的価値の高い事業の提案から実施までをお手伝いいたします。

お問い合わせ・資料請求は  
03-6229-5114

CSRプラス 検索

日本財団  
The Nippon Foundation

# アライズ

読者

1年の大半を飛行機に乗り全米中を飛び回っていたというテレビディレクター時代、スーパーホテルの中継現場から



1号店地下の「穴蔵のようを」(大森さん)事務所で、日本との連絡などをすませると、今日もまた新店舗の候補地探しへと出掛ける。

産んだ先輩もいましたから」同時に、副社長には長尾さんが就任した。広島県出身の彼女は、サルサをやりたくて29歳で渡米したという行動派。その後、やはり07年にパートナーと広告代理店を起業した。ゴージャスカラーのイーティンク・チャンピオンシップも、彼女が企画して始められたものだ。長尾さんは言う。「たまたま根性のある、同じ年で就職氷河期を経た日本人3人が、07年にアメリカで出会った。そんな「ニューヨーク物語」です」

カ月前倒しの3月15日を2号店の開店日に決める。自らのハードルを上げたのだ。その後は、時間をつくっては地下鉄で移動しながら物件を見て回った。いつしかその数は物件を超えていた。「ジャパニーズの女社長だっけ? お前には貸せない」

「冷蔵庫1台買うのも、自分のクレジットカード限度額まで使って、不足分を立て替えてたりもしていましたね」

地で営業を続けているほど。「そんななか、新参者の私たちが入っていくこうとしたんです。これはまず、地元で溶け込むことが大切だと思います。だから毎日、現地を訪れ、職人さんだけでなく、ご近所にも声をかけ続けたんです」

結婚のときに決めた2人の約束。その1番目が、「ともに成長する」だった。再就職先は、ニューヨークの日本食を紹介する雑誌を発行する会社。広告営業担当として入社し、2年後にはトップの成績を上げ、新雑誌「チヨップステイックジャパン」の統括責任者となった。それが、07年5月のこと。



「地方レズ」でおおてみせる宮森社長。接客者増のために日本から接客者を増やし、運営にも専念した。



1号店はいまNYを代表する日韓グルメ店に。リーマン・ショックで客数を増やし、不況に強いカレーを証明



大会の優勝者はアメリカ人のデビッドさん。5分55秒で4、5杯のカレーを準備し、2杯の準備も完了した。

「お金じゃなく、心の充足をくれる相手に出会えたなんて奇跡。すぐに結婚すべきよ」そうアドバイスされた。と同時に、ある。大事件。彼女の身近で起きた。01年9月11日。世界中を震撼させた「9・11」の悲劇だ。

くしくも同じ年の5月5日、ゴージャスカラーUSAの1号店がニューヨークにオープン。もちろん、大切な営業先として、大森さんは日本からやってきた宮森社長のもとに、真っ先に駆けつけた。

「『女性力』で成功してきた象徴が『ニューヨークのお店なんです』」

「3年待って。その間に、子供ができて働けるシステムも、いっしょに作るから」

# クリーズ間

浅田

けましたが、そうした結果には必ず原因があるんです。その原因とは、いかに汗をかいているか。そんな日々の積み重ねなんです。僕は彼女ならやってくれるだろうと、最初



マンハッタンまで地下鉄で15分という自宅前で。夫の聡之さんは、大森さんが疲れていると花を買ってきてくれるという

からわかっていましたよ」  
続けて宮森社長から出た言葉は、意外でもあった。  
「じつは、うちは『女性力』で成長しているんです。従業員も7割近くが女性。その象徴がニューヨークのお店なんです」  
米国に渡った当初は、少しでも現地になじもうと、髪の毛を金色に染めていたという大森さん。  
「でも、まねをしても、それは自分じゃない。じゃあ、私らしさとは何かと言えば、日本人の勤勉さじゃないですが、日々を一生懸命に送ることでした。そうですね、それこそ、

ひたすら汗をかくこと。それを教えてくれたのも、またニューヨークだったんです」  
毎日が全力投球だから、過去へのこだわりや後悔もないと語る。今は映画を見るヒマもなくて、と笑った。友人たちは彼女に言うそうだ。

## 「物件を探して大家と交渉の日々…」 「ニューヨークって本当に面白い！」

スタンダードなカレーが1杯5。(約80円)と、市内の物価からすると、お手ごろ価格のゴーゴーカレー。しかし、1号店がある38ストリート界隈は、すぐ隣にチャイニーズの食堂、反対側に1枚1のピザ、ドーナツ店やカフェテリア……と、飲食店のライバルがひしめいている。  
午前10時30分。そんなゴーゴーカレーの店内から大きな朝礼の声が聞こえてきた。  
「マタノ、オコシワ……オマチシテオリマス」  
フィリピン出身の店長・ロネルさん(33)がカタコトの日本語を繰り返したとたん、大森さんが拍手を送る。  
「おお、ロネルさん。ニューヨークです。新しい日本語を覚えたのね、すごい」  
現在、ニューヨーク店で働くスタッフは、フィリピン人やメキシコ人など12人。ロネルさんの夢は、オーナーになることだ。

「トモコの舞台が、ブロードウェイからビジネスの戦場に変わったんだね」  
今日も彼女はニューヨークの街で、「ハロー」「オーラー」と、出会う相手の言葉を使い分けながら、元気な声をかけていく。

今後、ゴーゴーカレーのアメリカでの出店プランは、次の2年間で、ニューヨークエリアに5店舗を展開すること。そのため大森さんは、ときに店頭でクーポンを配ったりしながら、新たな物件探しを続けている。朝礼後、その交渉の現場に同行した。  
地下鉄で降り立ったのは、国連本部へも2ブロックという一等地。建物の大家は、中国系と思われる老婦人だった。大量の鍵がぶら下がったキーホルダーを手に持っている。大森さんいわく「ニューヨークのお金持ちの、ひとつのタイプ」だそう。  
交渉は30分ほど続いた。  
「隣のヨーグルトショップも彼女の持ち物だそう。でも聞いていたら、『フランチャイズ契約をして、ノウハウをもらったから契約を解除して自分で店を始めた』って。うーん、怖いと思いました。さすがにニューヨーク。私はこ

れから、こんな百戦錬磨の大家さんたちと交渉していくんですから、いい勉強になりました。いや、ニューヨークって本当に面白い！」  
午後になり、カフェで取材の続きをしているときだった。携帯電話に出た彼女の顔がパフと明るくなった。

「エンパイアステートビルに空き物件が出そう。と。エンパイアについていえば、あの映画のキングコングが登ったビルでしょう？ そこに、ゴリラがトレッドマークのゴーゴーカレーが出店、いいじゃないですかあ」  
じつはニューヨークは今、空前のラーメン・ブーム。このブームも、仕掛けから5年ほどかかって実現したものだという。次はカレーかと、期待もかかるが……。  
「そのためにも、なるべく早く、ウォール街にも出店します。1杯5の日本のカレーで、世界一の金融街のランチを制覇したい」  
女性社長となって、まだ半年足らず。これからが正念場だ。しかし彼女には、プレッシャーはあるが気負いはない。日々、全力投球で前に進むだけだから、自分らしく。

取材・文/堀ノ内雅一  
撮影/田中克佳(ニューヨーク分)、水野龍也